

一 般 質 問 通 告 書

令和8年第1回定例会

順番	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	要 旨	答 弁 を 求める者	
6	2	川 畑 二 美	1 市内温泉施設への設備 改修支援について	(1) 温泉を地域資源として維持・活用する観点から、観光振興及び事業者支援策として、老朽化が進む市内温泉施設の源泉設備、循環機器、ボイラー等の改修・更新に対し、補助制度を創設する考えはないか。	市	長
				(2) 市民向けに、温泉の入浴料の一部を補助する制度を導入する考えはないか。	市	長
			2 交通不便地域対策について	(1) 本市の高齢者等福祉タクシー利用助成の制度は、移動手段がタクシーに限られる方にとっては上限枚数を早期に使い切ってしまう実態である。この課題をどのように認識しているか。	市	長
				(2) 高齢者等福祉タクシー利用助成事業を補完する施策として、中心市街地を巡回する小型車両による循環型乗り合い交通を導入することはできないか。	市	長
			3 佐潟鼻周辺の観光資源 活用について	(1) 佐潟鼻周辺は、本市を代表する景観資源であると思うが、十分な整備がなされていない現状をどのように認識しているか。	市	長
				(2) 私有地があることを踏まえ、地権者との協議を行いながら、市有地を含めた一体的な整備計画を策定し、観光客増加につながる有効活用を検討できないか。	市	長
			4 大川地区の原発災害時 避難道路の再検討について	(1) 大川地区の避難できる道路は、原発事故発生時には不十分との不安の声があるが、市は認識しているか。	市	長
				(2) 地区代表からの正式要望がないことを理由に道路の整備を行わないとの姿勢を示しているが、一部の住民からの不安の声	市	長

			<p>5 新図書館の設計・建設における説明責任について</p>	<p>がある場合は、市として主体的に再検討すべきではないか。</p> <p>(3) 国庫補助や原発関連交付金を活用し、避難道路増設の可能性を検討すべきではないか。</p> <p>(1) 新図書館建設において、議会や市民の意見が十分に反映されていると言えるか。</p> <p>(2) 設計内容について、より詳細な資料を示した上で、市民及び議会に対する説明の場を改めて設ける考えはないか。</p> <p>(3) 設計変更に伴う予算額3,190万円の支出について、その積算根拠と妥当性の具体的な説明を求める。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>
7	9	竹原信一	<p>1 学校統廃合のあり方と地域・移住定住との関係について</p> <p>2 市政の検討過程と情報提供の在り方について</p>	<p>(1) 学校統廃合の検討に当たり、人口減少対策や移住定住政策への影響を分析したことはあるか。ある場合はその内容と結論を示されたい。</p> <p>(2) 教育効率のみを基準とした検討になっていると見受けられるが、地域維持や将来人口への影響をどのように位置付けているのか。</p> <p>(1) 市民に対し、「未着手の事項」、「現在検討中の事項」、「決定済みの事項」を区分して示す仕組みを設ける考えはあるか。ある・ないを含め明確に答弁されたい。</p> <p>(2) 市民から「検討中の内容やその後の経過が分かりにくい」との意見があるが、市は把握しているか。また、その改善策を具体的に検討しているか。</p> <p>(3) 今後の政策検討において、方向性や進捗を段階的に情報公開し、市民と共有する方針を持っているか。持っている場合、情報公開の基準をどのように定め</p>	<p>市長・教育長</p> <p>市長・教育長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

				ているか。	
			3 図書館建設と教育の将来性について	(1) 児童生徒に対し、図書館建設に係る費用、意思決定の理由、複数の選択肢の存在などを十分に説明しないことは、主体的な学びや批判的思考を育てる教育理念と整合するのか。教育委員会としての明確な教育的根拠を示されたい。	教 育 長
				(2) 教育委員会の説明が「行政側の判断を前提として疑問や異論を抑制する形になっていないか」について、どのように自己検証しているのか。教育委員会も「教育行政として誤り得る主体である」という前提に立った説明責任をどのように果たすのか、教育観を具体的に示されたい。	教 育 長
			4 青果市場跡地と市の将来設計について	(1) 約4,000万円の土地取得について、収支見通しや地域経済への波及効果をどのように試算したのか。特に、人口約1万8千人規模の本市において、年間650万人以上を集客している商業施設が存在する中で、新たな拠点整備の需要予測や商圈分析をどのように行ったのか、具体的な根拠を示されたい。	市 長
				(2) 優先交渉権者が採算性を理由に辞退したことについて、市が優先交渉権者を決定する前提とした当初の事業成立性のどの部分が見直しを迫られたと認識しているのか。民間参入が実現しない場合の次善の運営シナリオを計画段階で検討していたか。	市 長
				(3) 人口減少と財政制約が続く中で、本市は拠点整備を積み重ねていく都市であるのか、それとも施設総量の抑制と機能再編を進める都市であるのか、基本的	市 長

				<p>な方向性を示されたい。</p> <p>(4) 青果市場跡地については、新たに作る場所としてだけでなく、つくらないという政策判断も含めて検討する考えはあるか。</p>	市	長
8	12	山田 勝	1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 寺島宗則記念館では売主から寄託された仏壇を保管し、また、売主等の関係者が同館を法事に使用することを許しているが、ほかの市の施設においても、市民から同じような依頼があったときは、同様の取扱いを行うのか。</p> <p>(2) 寺島宗則記念館に保管している仏壇及び同館の法事目的の使用に関する覚書は、土地建物の売買契約を締結した当時の担当課長のみが記名押印したものであるが、市が取り交わす覚書として適切なものであると言えるか。また、このような特別な取扱いとも言えることが記載されている覚書は、担当課長の権限で作成できるものであるのか。</p> <p>(3) 令和7年第4回定例会の一般質問において、寺島宗則記念館に保管されている仏壇の取扱いについて、議会での議論等も踏まえた中で、相手方と直接お話をし、対応を考えたいと答弁されたが、相手方と話をしたか。</p> <p>(4) 議員からの質問、要請等に、「検討する」、「対応する」等と回答したことは、迅速に対応できているか。</p>	市	長
			2 市長の活動と、ふるさと納税を活用した消滅可能性自治体からの脱却について	<p>(1) 市長が全国青年市長会の会長をされたことにより、本市にどのような影響があり、市民にどのような福利がもたらされたか具体的に示せ。</p>	市	長

			<p>(2) 令和7年第4回定例会の一般質問において、大阪府泉佐野市との特産品相互取扱協定を通じて、ふるさと納税制度に寄与できるよう検討していくと答弁されたが、どのような交流を行うのか。</p>	市	長
			<p>(3) これまでふるさと納税を財源とする学校給食費無償化に消極的であったが、令和8年度からふるさと納税を財源として学校給食費を無償化することとした理由は。</p>	市	長
			<p>(4) 大分県豊後高田市は、市長の政策推進により5年ほどで消滅可能性自治体から脱却したと聞いた。特に、子育て支援制度については、医療費、給食費、保育料等の無償化のほか、子育て応援誕生祝い金で最大100万円を支給するなど手厚い施策を行っているが、本市も子育て支援制度を拡充する考えはないか。</p>	市	長
			<p>(5) 本市では、消滅可能性自治体から脱するためどのような努力をしているか。</p>	市	長